

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



市の防災・防犯力の向上/市立小・中学校の教育環境の充実
佐藤 徹議員 (市議会公明党)

市の防災・防犯力のさらなる向上を目指して

質問 ①総合防災訓練で紹介された簡易組み立てトイレ等4点の公共施設での展示等は、それらの普及促進に有効だが見解は。

②ボランティア保険に対応した通学路安全対策ボランティア制度を創設すべきだが見解は。
市長 ①産業まつり等でも展示紹介しており、市民の相談があれば窓口でパンフレットを配布するなど備蓄の啓発をしている。

教育長 ②学校のボランティア活動は市が加入する保険の対象であり制度化の予定はないが、地域の人等に協力してもらうた

め学校への支援を検討していく。

市立小・中学校のさらなる教育環境の充実を目指して

質問 ①小・中学校の適切な場所にミストシャワーを設置すべきと考えるが見解は。

②特別支援教育支援員を全校に配置すべきと考えるが見解は。
教育長 ①学校の要望で小学校1校、中学校3校に設置した。今後も状況に応じ検討していく。

②全校一律の配置ではなく、必要に応じた活用が効果的と捉えている。巡回指導の教員が担任に助言できるようにするなど新たな取り組みの成果も踏まえ、今後も充実に努めていく。



投票しやすい環境整備の推進/上水本町地域の課題について
幸田昌之議員 (市議会公明党)

市民の皆さんが投票しやすい環境整備を進めよう

質問 ①期日前投票で東西市民センターの期間を延伸すべき。

②期日前投票所の健康センター4階は利用者の増加やバリアフリー等の観点から限界では。選挙管理委員会事務局長 ①駐車場が狭く事務局の支援体制等に課題があり現時点では難しい。

②健康センターはさまざまな利点がある。投票所が4階のため不便をかけるが、他施設では代替できない条件を備えている。
変化する上水本町地域の課題について

質問 ①高齢化に伴い玉川上水沿いの落ち葉対策が必要と考えるが見解は。

②旭ヶ丘中通りの歩道は高齢者等には歩きづらが見解は。

市長 ①落ち葉の多い冬場に道路清掃を月6回行うほか、日ごろより美化活動に関心の高い人々が希望する場合にはごみ袋等を配布し、地域の理解と協力を得ながら環境の維持に努めている。

②沿道の駐車場の出入り口等切り下げ箇所が連続していることと起伏が生じ、歩きづらく感じる人もいと認識している。
【掲載分以外の質問項目】
○公共施設の新構造部材の耐震対策はどこまで進んだか



▲玉川上水沿いの落ち葉清掃の様子

▶切り下げ箇所が連続している旭ヶ丘中通りの歩道



住居表示板等経年劣化の対応/体験農園をふるさと納税返礼品
小野高一議員 (政和会)

住居表示街区符号表示板等の役割と汚れや経年劣化の対応は

質問 ①経年劣化等で判別が困難となった表示板の取り扱い。

②横浜市では、障害者の社会参加を支援する観点から、障害者施設と連携して街区表示板の点検、補修を実施している。同様の取り組みを検討できないか。
市長 ①受託事業者が維持管理を実施するなどしている。

②障害者就業施設等と連携して街区表示板等の点検、補修を行うことについては、個別の案件ごとに具体的な作業内容や規模等が異なることから、横浜市事例も含め今後研究していく。

農業体験農園の受講をふるさと納税返礼品として農業振興を

質問 ①農業体験農園事業等を使途として選択した寄附は、当事業の整備拡充に充当できるか。

②農業体験農園の年会費分を返礼品として設定することで、近隣の自治体の住民からの寄附が見込まれるが、見解は。
市長 ①実務的には可能であるが、ふるさと納税の対象事業にふさわしいかの見きわめなどが必要なため、今後研究していく。

②年間を通じて農園に通い、耕作等を行うため、おのずと近隣自治体の住民からの寄附が中心になると考えている。



子育て世代の外出支援/オストメイトの方々への配慮
津本裕子議員 (市議会公明党)

子育て世代の外出支援を具体的に進めるために

質問 ①公共施設や店舗、事業所への赤ちゃん・ふらつとの設置について現状と課題は。

②子育て応援とうきょうパスポートへの参加事業をふやす取り組みを行うべきだが見解は。
市長 ①公共施設17か所とその他の店舗等5か所が登録されている。課題は設置スペースの確保や設置等の経費負担等である。

②市報、市ホームページでの広報や都が作成したリーフレットの配布等を行っており、今後、小平商工会等を通じ、さらに事業者にも周知していく。

オストメイトの方々への配慮について

質問 ①オストメイト対応トイレ増設を進めるべきだが見解は。

②防災備蓄品としてストーマ装具を備えるべきだが見解は。
市長 ①通常のトイレではストーマ装具の処理を適切に行うことが難しいため、必要と認識している。施設の更新や改修等の機会を捉え設置に努めていく。

②装具は1千5百種類以上もあり毎年買いかえる必要があると聞いている。災害時もそれぞれのオストメイトに合う装具を用意する必要があり、市で備蓄することは難しいと考えている。



体力づくりプロジェクト/うつ病患者への行政サービス
浅倉成樹議員 (市議会公明党)

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

質問 ①市民の健康と体力づくりのための現在の取り組みは。

②教育現場で2020年東京大会にちなみ児童等の体力づくりのプロジェクトは考えられないか。
市長 ①各種スポーツ教室等の実施や、こだ健体操の普及等でのライフステージを通じた健康づくりの推進に努めている。

教育長 ②27年度に楽しみながら運動プログラム開発委員会を設置し、運動習慣の定着と意欲向上に向けた取り組みについて協議している。30年度以降、プログラムの実践で児童等の体力

質問 ①鬱病患者は市で何人か。

②自宅療養中の患者に対する市の支援は。

市長 ①把握していないが、26年10月に国が実施した調査の人口割合を市に当てはめると、鬱病を含む気分障害全般の患者数は約1千8百人と推計される。
②利用可能なサービス等を案内するほか、保健師が相談に応じ、必要に応じて自宅等を訪問し、医療への受診状況や日常生活等を把握し、指導や助言を行うなどの支援をしている。



保育士確保と待機児童対策/災害時アレルギー対応について
中江みわ議員 (フォーラム小平)

保育士確保と待機児童ゼロの対応を求めて

質問 ①保育士不足の現状は。

②保育士確保の支援策は。
③市内の潜在保育士の把握は。
④潜在保育士への働きかけは。
⑤保育士人材バンクの創設は。
⑥今後の待機児童対策は。
市長 ①人材確保等が課題。

②保育士等キャリアアップ補助金や保育従事職員宿舎借上げ支援事業実施で処遇改善を図る。
③市では把握していない。
④市報等で働きかけている。
⑤現段階では考えていない。
⑥30年4月の小規模保育事業1か所の確実な開設を推進する。

災害時におけるアレルギー対応について

質問 ①市のアレルギー対応食の備蓄状況について問う。

②避難所受け入れ時のアレルギー有無の確認方法は。
③アレルギーの人へのピブス配布等避難所での手段と今後は。
市長 ①29年11月現在でアレルギー米1万1千9百50食、おかゆ4千食、粉ミルク850缶25缶。

②世帯ごとに避難者カードに記入してもらい把握する。
③ピブス等の着用は考えていない。今後はアレルギーのある人に各自で備蓄することを啓発し、市は食料等の備蓄に努める。